

# 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル

(第 20 回アシテジ世界大会/愛称：未来フェス) ビジョン

『誰一人取り残さない』社会の実現のために

主催

国際児童青少年舞台芸術協会（アシテジ）日本センター  
一般社団法人 TYA Japan（日本児童青少年舞台芸術協会）  
NPO 法人 子どもと文化全国フォーラム

子ども、文化。それが私たちの未来

*All our Futures : Children and Culture*

今ほど文化の力が必要とされる時代はない。

ひと、もの、情報の移動が地球規模で加速し、社会は急速に変化している。デジタル技術の著しい進展は私たちの暮らしや生き方を変貌させ、バイオ技術や人工知能は「人間とは何か」という根本的な問いを投げかけるまでになった。

貧困や格差、移民や難民、環境破壊や気候変動などの問題が国境を越えて広がる一方、世界は分断の時代に向かおうとしている。その影響を最も受けるのは子どもたちであり、私たちの未来だ。

日本では人口減少が始まり、世界のどの国も経験したことのない超高齢社会に突入した。そのうねりはやがて欧米やアジア諸国にも及び、全世界が高齢社会に直面する日は遠くない。若者の死因の多くが自殺だという深刻な現実も直視する必要がある。

私たちは未知なる未来とどのように向き合えば良いのか。子どもたちにどんな未来を託せるのだろうか。その“未知なる未来”へと向けた旅は、これからも続くのだ。

2020 年、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催される東京、日本で、文化、とりわけ舞台芸術の力を頼りにそれを探求、実践するため、私たちは第 20 回アシテジ世界大会「ASSITEJ2020」と国際児童青少年舞台芸術フェスティバルを開催する。参加する 100 か国以上がそれぞれの立場から、子どもと文化を取り巻く環境の変化や課題を共有し、それを克服する確かなステップを共に踏む「旅の始まり」である。

もはや経済だけで豊かな社会を築くことができないことに誰もが気づいている。私たちは古来より芸術を通して人間の本質を見つめ、未来を描き、文化と知恵を蓄積、継承してきた。

子どもと文化の出会い。それは私たちの未来である。

## 2020 国際子どもと舞台芸術・未来フェスティバル

私たちは、アシテジ（ASSITEJ）参加世界 100 ヶ国以上のナショナルセンター、ネットワーク、個人会員とともに、下記の将来像（ビジョン）、使命（ミッション）、価値（ヴァリュー）、目標（ゴール）を掲げて 2020 国際子どもと舞台芸術・未来 フェスティバル（第 20 回アシテジ世界大会）を開催する。

### 将来像（ビジョン）

- 子どもや若者の文化的な生活や芸術への参加機会に格差がなく、差別や排除のない、「誰一人取り残さない」（SDGs より）社会を実現する。

### 使命（ミッション）

- 世界中のあらゆる文化的背景を持つ子どもや若者の「文化的な生活に参加する権利」を擁護し、文化芸術活動、レクリエーション、余暇活動の体験機会を創出する。
- 子どもや若者が遊びや文化活動、とりわけ舞台芸術の経験を通じて、文化の多様性に触れ、社会の規範や倫理を学ぶとともに、創造性や寛容性を培う。

### 価値（ヴァリュー）

- 舞台芸術を介して他者の尊厳を知り、自由な表現を尊重する。
- 「未知なる未来」に対する恐れと勇気を持って向き合い、未来へ向かうための対話と創造への参加を提唱する。
- 子ども、若者、大人がともに過去の文化を守り、未来の文化を切り拓く。

### 目標（ゴール）

- 子どもや若者が、良質で多様な舞台芸術と出会い、鑑賞や創造に参加するための開かれた機会を創出する。
- あらゆる差別や排除をすることなく、すべての子どもや若者が舞台芸術と出会い、鑑賞や創造に参加するための機会を生み出す人材を育成する。
- 子どもや若者のための舞台芸術表現に関わる機関、団体、個人のネットワークをより拡充し、関係を深化させる。
- 子どもや若者のための文化芸術に関わる施策や事業の調査研究及び評価検証を行い、持続可能な環境を整備する。
- 文化的な生活及び芸術に自由に参加する権利（国際連合「子どもの権利条約」第 31 条）を中央政府や地方政府の法令や計画に反映させていく。